

経営協議会議事録  
(臨時)

令和4年1月11日(水)～14(金)  
書面審議

出席者

議長	玉手英利						
委員	相澤益男	井上弓子	小林裕明	里村正治	鈴木道子	西海和久	
	萩原なつ子	長谷川真理子	吉村美栄子				
	飯塚博	出口毅	矢作清	根本建二	花輪公雄	額瀨晃	佐藤慎哉

列席者

副学長	林田光祐	羽鳥政男
監事	渡辺均	大森夏織

1 【協議】中期目標(原案)・中期計画(案)について

玉手学長より、文部科学省及び国立大学法人評価委員会の意見を受けて見直しを行った第4期中期目標(原案)・中期計画(案)について、令和4年1月14日までに意見を求めた。

次いで、上記照会の結果、本件について了承された。

なお、文部科学省に提出した第4期中期目標(原案)・中期計画(案)及び委員からの意見に対する対応については、1月24日開催の経営協議会にて報告することとした。

本件に関して、主な意見は次のとおり。

- ・全体を見ると、評価指標の開発に長期間を要している傾向があり、挑戦的な達成水準の設定とは捉えにくい。PDCAサイクルを早く回すことが目標実現に向け現実的解決策になるのではないか。
- ・前文の基本的な目標の1～5の項目名を目立たせた方がよいのではないか。
- ・今後重要となる同窓会が中期目標・中期計画のどの部分に含まれるか分かりにくい。
- ・SDGsについて、令和9年度までに大学としてどこまでの目標を達成するのかが分からない。
- ・将来ビジョンと第4期中期目標・中期計画はどのような関係性か確認したい。
- ・山形大学医学部では、本県の地域医療の中核を担うことが期待されていることから、医学部卒業者の県内医療機関研究医マッチングの指数の上方修正は歓迎したい。
- ・評価指標の明確化について執行部が戦略的に判断されたものと思われる。
- ・修正により内容及びアウトカムに着目した評価指標・達成水準が明確になり、より具体的になっている。